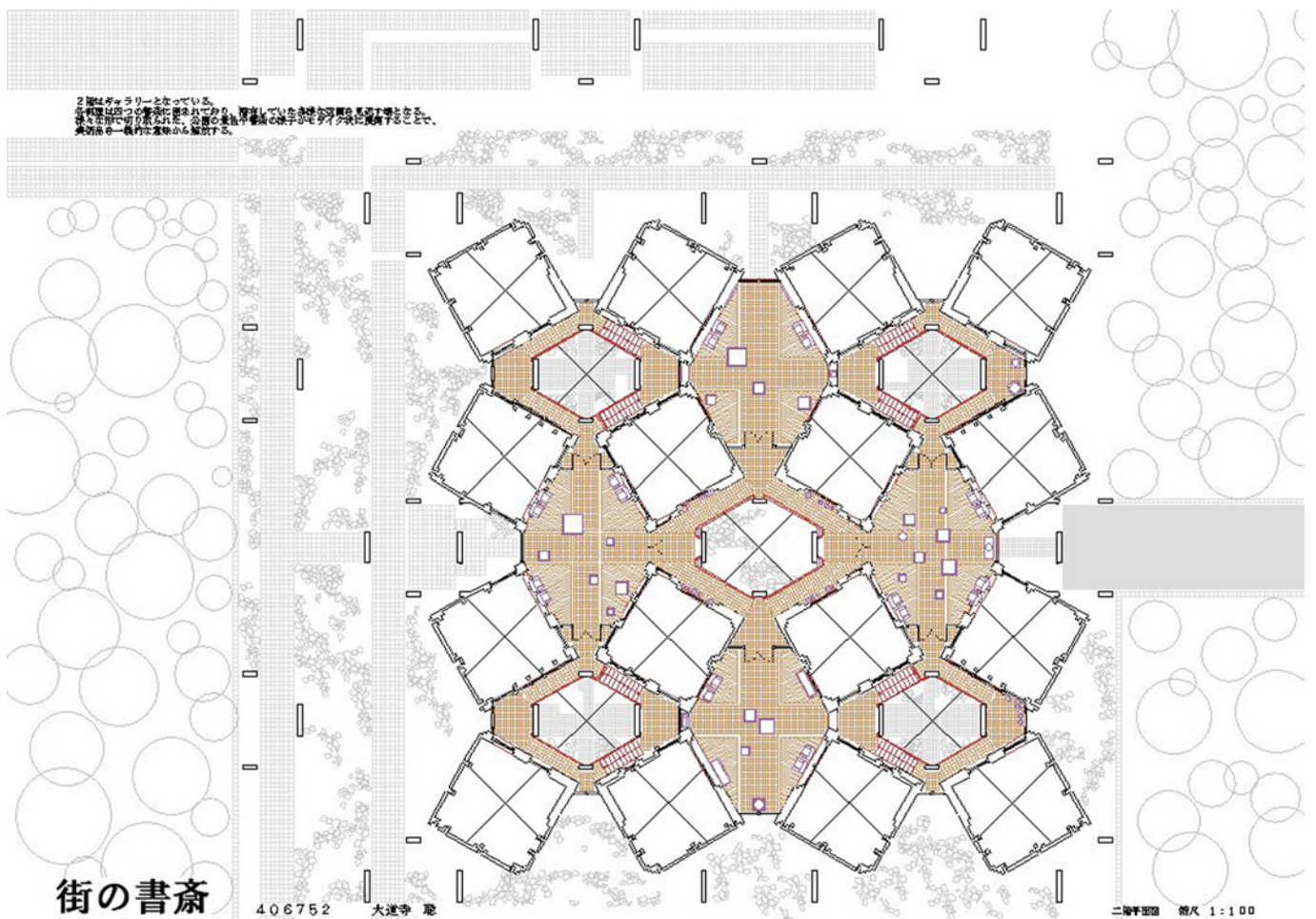
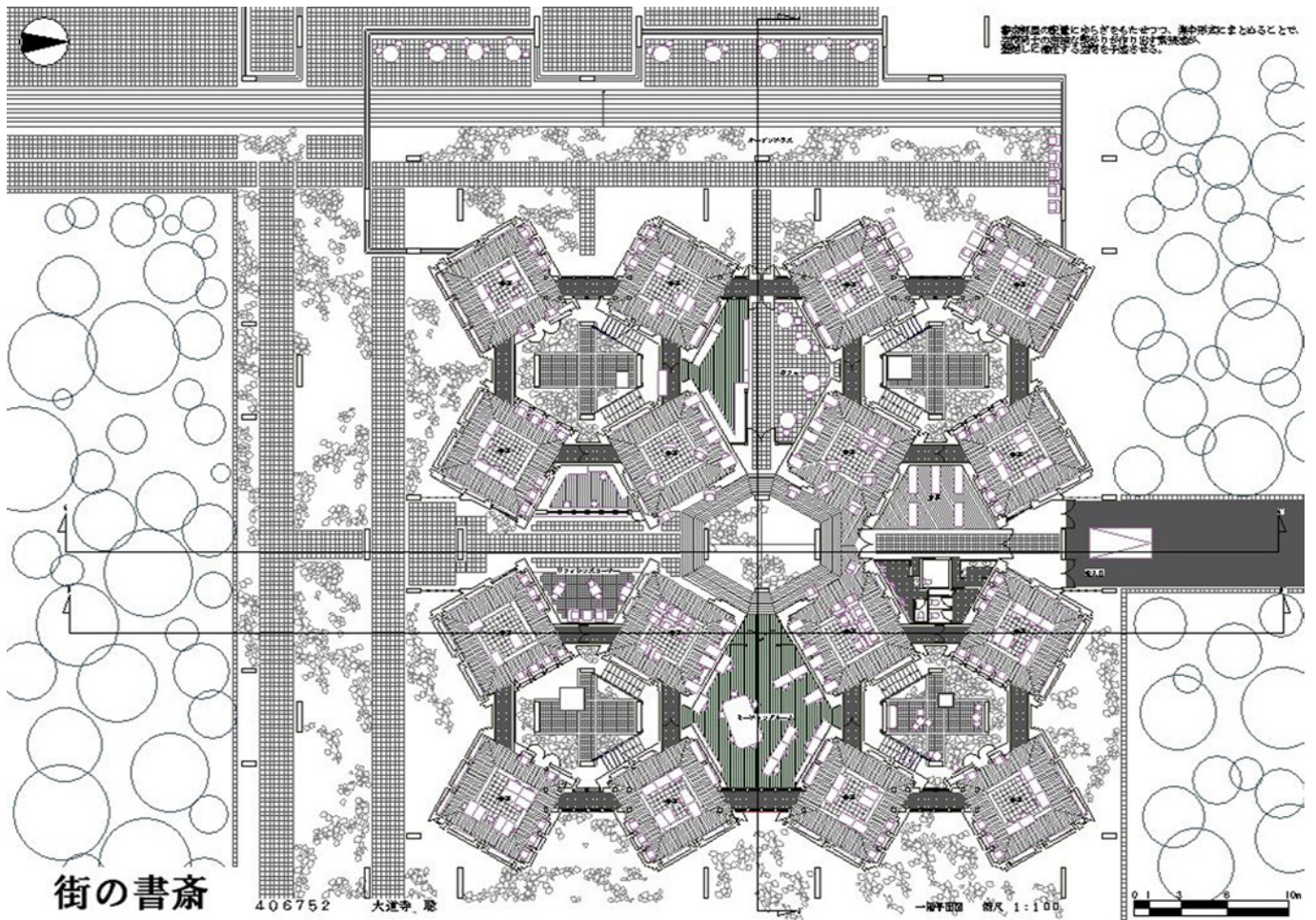






「街の書齋」 大道寺 聡









「街の書齋」 大道寺 聡



同一空間を、地形の高差差を利用することで分離し、空間を共有している感覚を共有できるようにした。

A-A' 断面図 縮尺 1:100



中央の空間のゆらぎによって生まれた奥行きを強調し、中央の空間をつなぎ、層高のコントラストと空間の変わり解かれる。

B-B' 断面図 縮尺 1:100

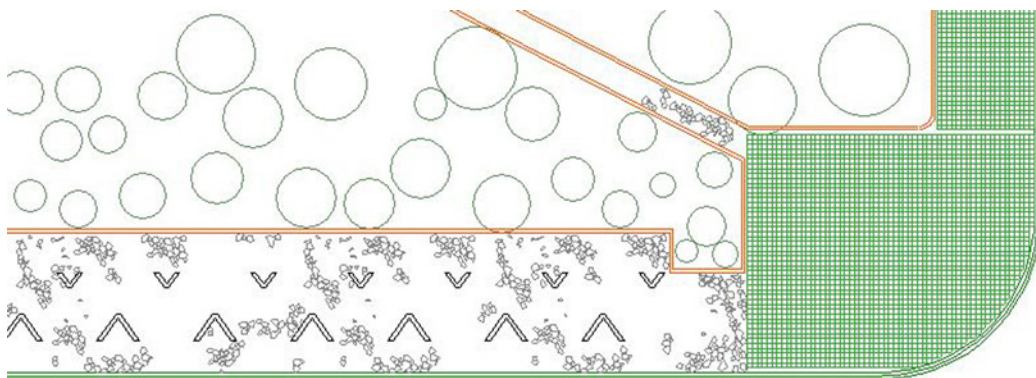


階段する等差を少しずつ変化を繰り返すことで、奥行きを感じ取り、奥行きを感じるたびに、奥行きを感じながら、奥行きを感じる。

C-C' 断面図 縮尺 1:100

街の書齋

406752 大道寺 聡



創意的なファクターFを形成し、公園と街との外空間関係を高める。既存建物と公園の境界をゆるやかに分け、その間に街の賑わいと公園とのつながりをつくり出す。Fの字型の列柱が公園の緑の連続に導きつつ文化の富んだシーアクトを作り出す。

平面図 1:100

車道側と公園側の完全に分離するのではなく、二層のレイアウトによりゆるやかに分けて、互いの空間も感じられる。異なる高さの建物を組み合わせることで、緑地が公園とつながるような感覚を演出しようとした。



公園側から築建物の見える



公園側から築建物の見える



立面図 1:100

断面図 1:100

街の書齋

406752 大道寺 聡

